

刊行にあたって

本市の基本構想・基本計画である「元気発進！北九州プラン」では、まちづくりの目標に「人と文化を育み、世界につながる、環境と技術のまち」を掲げ、各種の施策を進めています。

そうした中、「世界の環境首都」及び活気ある緑の産業都市を目指す「緑の成長戦略」の実現に向け、北九州市環境基本計画に定める「低炭素社会づくり」の推進、「循環型社会づくり」の推進、「自然共生社会づくり」の推進、「北九州市民環境力」の強化の四つを柱として取り組んでいます。

具体的には、「環境モデル都市行動計画」において、低炭素社会に向けた経済・社会の変革を進め、次世代送電網（スマートグリッド）を中核とした交通システムやライフスタイルの変革を図る「北九州スマートコミュニティ創造事業」や、「アジア低炭素化センター」によるアジアへの環境技術移転など、各々の事業による成果も表れてまいりました。

また、低炭素社会づくりだけでなく、ごみの減量化・資源化の推進やエコタウン事業を代表とする環境産業の育成・支援といった資源循環型社会の構築、本市の環境施策の原点である公害対策をはじめとした生活環境の保全、さらには市民・事業者などに自ら考え行動してもらうための人材育成や環境学習を中心とした市民環境力の強化など、幅広い取組も同時に推進しております。

今年7月には、経済協力開発機構（OECD）より、都市のグリーン成長モデル（環境と経済が両立した都市開発モデル）都市として選定されました。OECDを通じた世界中への環境情報発信により、「世界の環境首都」の都市ブランドの構築などに繋げていくことにしています。

今後も引き続き、市民・NPO、事業者の皆様が育んできた市民環境力を発揮しながら、「世界の環境首都」を目指した環境施策に取り組み、環境の絆で結ばれた豊かな暮らしが実感できるまちを目指して様々な取組を進めたいと思います。

なお、小誌は、平成22年度の本市の環境の現状と環境保全の施策をまとめたもので、皆様に広く活用され、本市の環境行政に一層のご理解、ご協力をいただければ幸いです。

北九州市環境局